

中小企業の経営改善および地域活性化のための取組状況

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

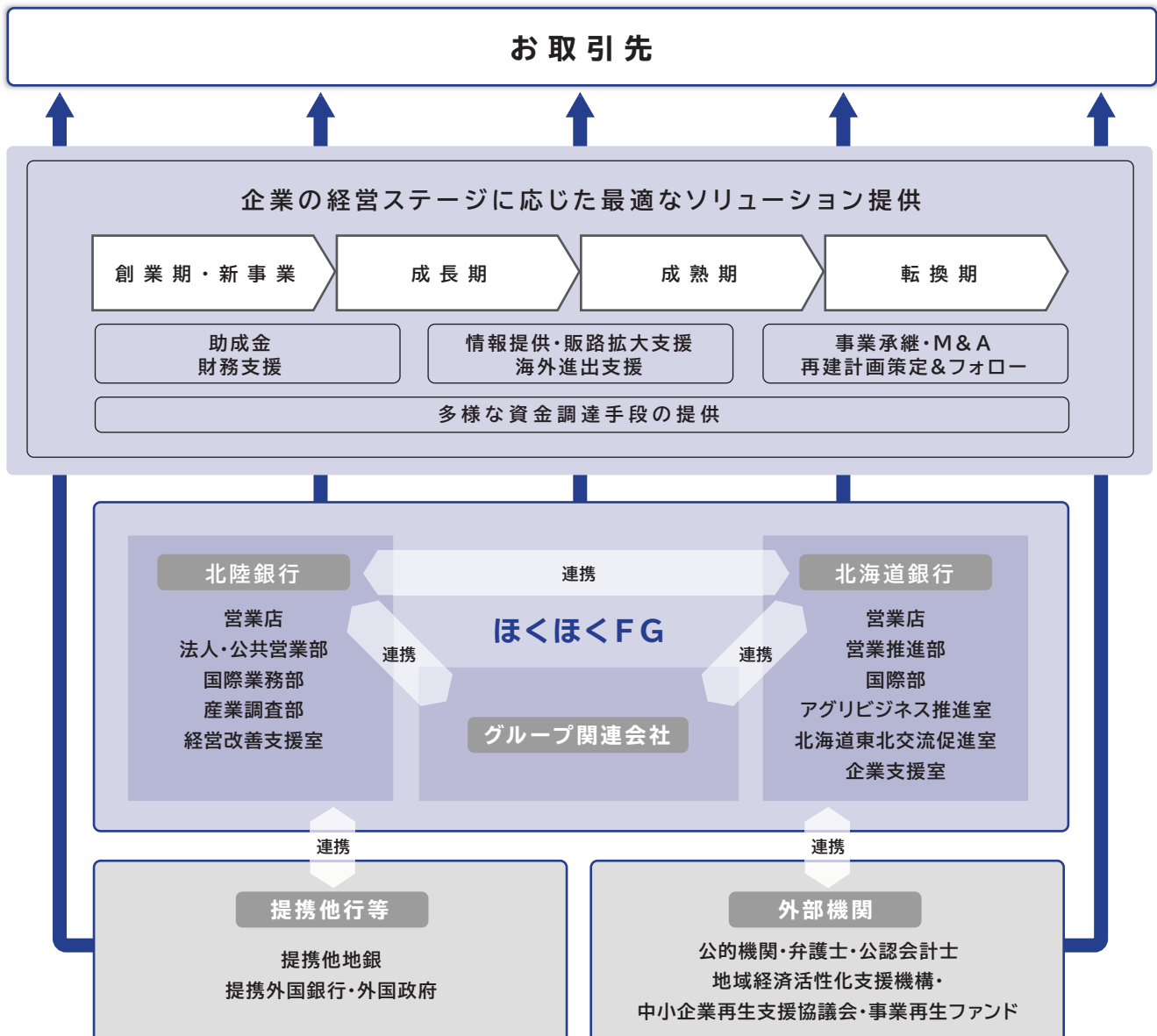
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループをめざしてまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行経営改善支援室、北海道銀行企業支援室が担っています。また、営業力の向上にむけたお取引先への情報提供と販路拡大、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行法人・公共営業部、国際業務部、産業調査部および北海道銀行営業推進部、国際部、北海道東北交流促進室、アグリビジネス推進室が担い、事業承継、M&Aについて

は、北陸銀行法人・公共営業部、北海道銀行営業推進部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人材の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、各担当部・室より常務会・経営会議や取締役会に報告し、経営の指示のもとに諸施策等について改善やさらなる充実に図る態勢としています。



■ 創業・新規事業開拓支援の取組状況（平成25年度実績）

当社グループでは、創業や新規事業の開拓を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなどの資金調達面からの支援および産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

<北陸銀行>

- 経営革新計画等の認定取得を目指すお取引先と外部専門機関をスムーズに結びつけるため、「ほくぎんビジネス創造プラットフォーム」を創設し、新規事業進出のサポート体制を強化。
- “ものづくり補助金”などお取引先が新規事業等へ乗り出す際に役立つ助成制度の情報提供や活用提案を積極的に展開。
- お取引先のビジネスニーズと大学機関等が持つ技術シーズを結びつけるために「産学連携ヒアリングシート」を活用し、新事業開拓に向けた研究開発を一步先に進めるためのサポートを実施。
- 再生可能エネルギーや医療介護等の成長期待分野に進出するお取引先の事業成功確度を高めるため、事業計画・収支計画の検証や策定をサポート。

<北海道銀行>

- 北海道・各市町村の創業支援制度資金の利用を通じて創業を支援。
- 既存のベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」第1号、第2号に加え、第3号となるファンドを組成し、将来性のあるベンチャー企業を支援。
- 「道銀アグリビジネスファンド」を株式会社漁業成長産業支援化機構、北海道ベンチャーキャピタル株式会社とともに組成し、農業を核とした6次産業化による新事業の開拓を支援。
- 異業種から農業へ参入を考えるお取引先を対象に「道銀農業経営塾」を開催し、情報を提供。

■ 販路拡大・海外進出支援の取組状況（平成25年度実績）

広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会やセミナーの開催等を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、テーマの絞り込みや事前相談などにより、お取引先にとってより有効なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

北陸新幹線開業に向けた商談会、セミナーを開催

<北陸銀行>

○「とやま・ながの『食』の交流商談会」を開催

平成27年3月の北陸新幹線開業に向け、富山と長野の食品を両県および首都圏のバイヤーにPRするため、富山県が主催した「とやま・ながの『食』の交流商談会」に共催しました。

両県は新幹線の開業により約50分で結ばれるため、経済交流を通じた地域活性化も期待され、熱心な商談が行われました。

バイヤー数	12社
出展企業数	38社
商談件数	117件

○「東海北陸モノづくりビジネス・サミット2013」を開催

「モノづくり」をテーマに東海・北陸の企業と国内大手・中堅メーカーとの受発注のマッチング、それらの技術から生まれる新たなビジネスチャンスの創造を目的に大垣共立銀行と商談会を開催しました。同時に、行政・大学・中小企業支援団体に協力いただき技術開発やマーケティング等に対する相談なども行いました。

バイヤー数	36社・団体
出展企業数	97社・団体
商談件数	約1,000件

○「北陸の『食』ブランド化戦略セミナー」

北陸の食材・商品の効果的なアピール、ブランド化がテーマのセミナーを開催しました。(参加者数:78名)

○第4回「とやま『食』の商談会 in 東京」

北陸3県の食品関連企業と首都圏のバイヤーとの商談会を開催しました。(バイヤー数:19社、参加企業数:25社、商談件数:210件)

北海道の「農業」と「食」に関する商談会、セミナーを開催

<北海道銀行>

○「東北・北海道6次産業化ビジネスフォーラム」を開催

東北の地銀10行と「東北・北海道連携」「6次産業化」をテーマとしたフォーラムを2日にわたり開催しました。初日は6次産業化に対する知識を深めていただくための基調講演、パネルディスカッションを行い、2日目は東北・北海道の企業80社が6次産業化の実現に向け、活発な商談を行いました。

○「北海道の『食』特別商談会」を各地で開催

地域の特色を生かすため地方都市での開催に重点を置き、胆振・日高、十勝、オホーツク地方などで開催しました。25年度はバイヤーと出展企業との個別商談のほかに、ご要望が多かった商品開発・デザインの専門家をお招きして出展企業の課題にお応えしました。

開催回数	8回
バイヤー数	24社
出展企業数	106社
商談件数	255件

海外進出に関する支援

<北陸銀行>

○「無錫商談会」を開催

中国の企業とお取引先とのビジネスの橋渡しを目的とし、経済協力協定を締結している無錫市商務局と共同で商談会を開催しました。無錫市は自動車部品、電子部品製造、機械・機械部品製造が主要産業であり、お取引先の部材調達先や製造委託先などの開拓のため、多くの商談が行われました。また、工場視察なども行われ、より密度の濃い商談となりました。

中国企業数	40社
参加企業数	20社
商談件数	122件

○インドネシア投資調整庁と業務提携

インドネシアへのお取引先の進出支援を目的としてインドネシア投資調整庁(BKPM)と業務提携をしました。大手銀行のバンクネガラインドネシアに続くBKPMとの提携により、投資と金融の両面での体制が整備され、お取引先の同国への進出支援がより強化されました。

○「ロンドン北陸物産展」を開催

欧州への販路拡大を目指す北陸3県の食品関連企業がイギリス ロンドンにある欧州最大の日本食取扱店「ジャパンセンター」で商品販売を実施しました。(出展企業数:6社)

<北海道銀行>

○「ベトナムへ挑む! 食品輸出サポートセミナー&商談会」を開催

ベトナムに精通した講師によるセミナーおよびベトナムから食品卸業者バイヤーを招聘しての商談会を開催しました。講師からはベトナムで事業を行うときの注意点や日本企業に求めるものについてなど有意義な話をいただきました。商談会では前日に行われた試食会の効果もあり、多くの具体的な商談が実現しました。

セミナー参加者数	69名
バイヤー数	4社
出展企業数	14社
商談件数	32件

○「ウラジオストク駐在員事務所」を開設

3月18日、極東ロシアの沿海地方ウラジオストク市に、北海道銀行としてロシア第二の拠点となる駐在員事務所を開設しました。ウラジオストク市は、ロシア連邦政府の極東開発の拠点として著しい発展を遂げており、今後、道内企業のビジネスチャンスの拡大が大いに期待できます。設立5年を迎えるユジノサハリンスク駐在員事務所との相乗効果を発揮し、お客さまのロシアビジネスのサポートを積極的に行います。

○「タイビジネスセミナー」を開催

タイビジネスに関心をお持ちのお取引先に対し、タイ進出の可能性や成功のポイントなどをテーマとしたセミナーを開催しました。(参加者数:105名)

○ロシア アムール州政府と覚書を締結

農業および農業関連産業の発展に向けて、寒冷地農業の研究や技術普及および農業関係者の交流を支援する目的で締結しました。

○「ロシアビジネス勉強会」を開催

極東ロシアビジネスに関心をお持ちのお取引先への情報提供と北海道銀行の実務担当者との意見交換などを実施しました。(開催回数:2回、参加者数:49名)

■ 経営改善・事業再生等の取組状況（平成25年度実績）

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

<北陸銀行>

- とやま中小企業再生支援ファンドや中小企業再生支援協議会、小規模企業経営革新支援協会(ASEF)などの外部機関との連携により、小規模・零細企業に至るまでお取引先の経営改善を支援。
- DESやDDS等を利用した抜本的再生スキームを活用し、お取引先の早期再生を支援。
- 貸出条件の変更等を実施しているお取引先に対しても事業に必要な資金については積極的に応需。

<北海道銀行>

- 中小企業再生支援協議会や外部機関・専門家との連携を強化し、お取引先に対して実現性の高い経営改善計画策定や事業再生支援を実施。
- 定例的なモニタリング活動を通じたお取引先の実態把握の強化と具体的な経営アドバイスの実施。

経営改善支援の取り組み実績

	北陸銀行	北海道銀行
重点的な経営改善支援を必要とするお取引先	577先	271先
うち事業の改善が確認できたお取引先	64先	16先

■ 地域活性化に関する取組状況（平成25年度実績）

<北陸銀行>

- 富山県と「連携と協力に関する包括協定」を締結
富山県と産業振興、観光活性化や文化、スポーツ、防災など11項目で連携していく「連携と協力に関する包括協定」を締結しました。これまで富山県とは、海外での県事務所の運営など個別に連携してきましたが、平成27年3月の北陸新幹線開業を前に関係をさらに深め、地域の活性化に努めます。
- 北海道と連携協定を締結
北海道における産業振興に向けた取り組みを共同で展開し、北海道経済の活性化を図るため、北海道と連携協定を締結しました。これを記念して9月に香林坊大和が主催した「小樽物産展」(北海道、小樽市、小樽物産協会後援)に共催として参加しました。
- 地元大学で寄付講座を実施
地域の次世代を担う若い世代へ教育を通じた長期的視野での地域貢献として富山大学、金沢大学、金沢工業大学で寄付講座を行いました。経済や金融についての知識を幅広く習得する機会を提供できればと継続して取り組んでいます。
また、富山大学での講義内容を収録した同大学との3冊目となる共同執筆テキスト「事例とドリルで学ぶ企業総合分析」を出版しました。具体的な事例から企業の財務分析手法を解説しているので社会人にも参考になるテキストとなっています。
- まちづくり活動への支援
中心市街地における賑わい創出への協力として、「てるてる亭」(富山市)や美術館「ギャラリー・ミレー」(富山市)への支援をはじめ、営業店のある各地域で「まちづくり」を支援しています。

<北海道銀行>

- 再生エネルギー事業への支援
道内ではメガソーラーを中心として、再生エネルギーに関連した設備投資が本格化しているため、電力会社や建設業者等と連携した取り組みを行っています。
本部に再生エネルギーの専担者を配置し、これまで蓄積してきたノウハウを活用してお取引先への説明や事業計画策定に向けたアドバイスなどを実施しています。
- 旭川市と連携協力に関する協定を締結
旭川の地域経済活性化を図ることを目的に連携協定を締結しました。この協定に基づき、マーケティングおよび販路拡大、海外事業展開、企業誘致の推進等について連携・協力を行っています。
- 「道内四高専企業説明会」を開催
本説明会は、厚生労働省が地域の雇用対策を目的として実施している「戦略産業雇用創造プロジェクト」事業の一環として行っています。
道内企業による企業説明を通じて、四高専との情報交換の場を設けることにより相互の理解を深め、就職機会の拡大と優秀な人材の確保に繋げていただくことを目的に開催しています。「北海道のものづくり産業」の将来を担う優秀な人材が道内で活躍できるよう応援しています。
- スポーツ、文化・芸術における支援
女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」への支援や継続開催している「ライラックコンサート」をはじめスポーツ、文化・芸術を通じた地域活性化に取り組んでいます。